

授業科目(ナンバリング)	総合演習Ⅱ(IC481)			担当教員	健康栄養学科 専任教員		
展開方法	演習	単位数	1単位	開講年次・時期	4年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
臨地実習で得た体験を基にして、これまでに学修した専門基礎科目および専門基幹科目の内容をさまざまな角度から検討を加えて知識の再確認を行い、総括的理解を深めて知識の融合を図り、総合的な能力を身につけることを目的とする。							① ② ③ ⑧ ⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	管理栄養士として必要な専門的、実践的な自己課題を習得した知識・技術を活用し、解決することができる。				・定期試験	30%	
情報収集、分析力	各分野・領域に関する重要事項について関心と意欲を持ち、その知識・技術を包括的に応用することができる。				・定期試験 ・自主学習	15% 5%	
コミュニケーション力	各種能力を活用した上で、さらに卒業後判断が困難な事項を解決するために、学科の学生や教員とコミュニケーションを図りながらスキルを向上させることができる。				・授業態度・授業への参加度 ・自主学習	5% 5%	
協働・課題解決力	管理栄養士業務で発生する様々な問題を発見し、それを修正・改善することができる。				・定期試験 ・自主学習	15% 5%	
多様性理解力	領域を超えた専門知識と技術を関連づけ活用できる。				・定期試験 ・自主学習	15% 5%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験（75％）は、主体性・積極性および理解度に基づいて択一式問題（国試形式による出題）で評価する。 ・自主学習（20％）は、指導教員から出される、復習のための演習問題や確認試験等を通じてこれまでに学修した知識を整理し、統合を図っているかを評価する。また、問題や試験については授業内でフィードバックする。 ・授業態度・授業への参加度（5％）は、積極的に演習、確認試験等に取り組んでいるかを評価する。 							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学修した専門基礎科目と専門基幹科目の全般の知識を再確認し、各自がそれぞれ抱える問題点などを主体的に検討し、これを課題として担当する教員の指導を受け、栄養学全般の総括的理解を深めるとともに、活用に向けた応用力の基礎を準備する。 ・この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は45分である。 							
教科書・参考書							
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書・参考書：必要に応じ随時指示する。教科書指定は、「サクセス管理栄養士講座：人体の構造と機能及び疾病の成り立ちⅠ（生化学）」、第一出版。授業内容で使用する教科書、参考書などは担当の教員がそれぞれ指示したものをを用いる。必要な教材はプリントし、適宜配付する。 ・指定図書：管理栄養士・栄養士必携 2020年度版、日本栄養士会編、第一出版 指導教員により適時に指示・指定する。 							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・専門教育の総括として実施するので趣旨を理解し、与えられたテーマの課題を解決するために必要な専門基礎科目及び専門基幹科目の復習を行った上で授業に臨み、各自の能力を最大限に向上させる意欲を持って努力することを期待する。 ・管理栄養士としての業務が遂行できるように、各分野の知識を関連づけながら復習することを期待する。 ・事前学習や復習を常に行い、自学自習の習慣を身につけて、授業にそなえる。 ・授業回数の3分の2（20回）以上の出席を以て、評価対象者とする。 ・特別な事情を除き、無許可での途中退席は不可とし、私語は慎み、携帯電話の使用は厳禁とする。 							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	1. 管理栄養士として求められる基本的な資質・能力	(1)プロフェッショナリズム (2)栄養学の知識と課題対応能力 (3)個人の多様性の理解と栄養管理の実践	テーマ1 (1)～(3)の予習 (1)～(3)の復習 (4)(5)の予習
2		(4)社会の構造の理解と調整能力 (5)栄養・食の選択と決定を支援するコミュニケーション能力	テーマ1 (4)(5)の復習 (6)(7)の予習
3		(6)栄養・食の質と安全の管理 (7)連携と協働 (8)栄養の専門職としてのアドボカシー能力(社会や組織を変えていく力)	テーマ1 (6)(7)の復習 (8)～(10)の予習
4		(9)科学的態度の形成と科学的探求 (10)生涯にわたって自律的に学ぶ能力	テーマ1 (8)～(10)の復習 テーマ2 (1)(2)の予習
5	2. 社会と栄養	(1)社会および環境と健康の関わり (2)健康・栄養に関わる社会制度・法規と保健活動	テーマ2 (1)(2)の復習 (3)の予習
6		(3)根拠に基づく栄養管理のための疫学の理解と活用	テーマ2 (3)の復習 テーマ3 (1)～(3)の予習
7	3. 栄養管理の実践ための基礎科学	(1)人体の構造と機能 (2)栄養の概念と栄養素等のはたらき	テーマ3 (1)～(3)の復習 (4)(5)の予習
8		(3)食事・食べ物の基本 (4)栄養管理の基本 (5)人間の行動変容に関する理論	テーマ3 (4)(5)の復習 テーマ4 (1)(2)の予習
9	4. 食べ物をベースとした栄養管理の実践	(1)食べ物と健康の関連の理解 (2)食事と調理の科学の理解	テーマ4 (1)(2)の復習 (3)の予習
10		(3)給食と給食経営管理の理解	テーマ4 (3)の復習 テーマ5 (1)(2)の予習
11	5. ライフステージと栄養管理の実践	(1)ライフステージ別の栄養管理 (2)栄養教育の進め方と多様な場での展開	テーマ5 (1)(2)の復習 (3)(4)の予習
12		(3)日本と世界の公衆栄養の現状の理解 (4)公衆栄養活動の実践のための理論と展開	テーマ5 (3)(4)の復習 テーマ6 (1)～(3)の予習
13	6. 疾病と栄養管理の実践	(1)疾病の成り立ちと傷病者の栄養管理 (2)傷病者、要介護者および障がい者の栄養管理	テーマ6 (1)～(3)の復習 (4)(5)の予習
14		(3)傷病者、要介護者および障がい者に対する栄養管理プロセス (4)病態に対する栄養管理プロセス (5)ライフステージ別の病態に対する栄養管理プロセス	テーマ6 (4)(5)の復習 テーマ7 (1)～(3)の準備
15	7. 管理栄養士国家試験に向けて	(1)栄養士申請用紙記入 (2)管理栄養士国家試験受験申込書記入 (3)各申請書、申込書の確認など	申請に必要な証紙、写真等を準備し、試験要項を熟読しておく。
16	定期試験		

※事前配布物は、担当教員が回のテーマにそった予習や復習ができる資料を準備する。各回の授業内容は、テーマ担当者が必要に応じ調整し変更する場合もある。予習は、次回講義内容である。(学科専任教員：岡本、古賀、熊井、佐々木、野村、水江、林、松尾、山口、小田、川内、川野、高江洲、藤井、宮原、吉村、菊地)